

入間市博物館 キッズ・アート・ギャラリー 「トレインミュージアム」を作ろう

日時：2018年7月29日(日) 10:00~12:00

主催：入間市博物館 / SMF

講師：SYUTA (三友周太) <アーティスト>

▶埼玉県を中心にアメリカやスウェーデン、イタリアでも活躍の場を広げるアーティスト、SYUTAさん。



カエルを乗せた車両が2つに!! 光と影を使った作品にびっくり

近所の小学生や美術部の中学生8名と一緒に「トレインミュージアム」作りにチャレンジ。部屋の電気を消して、作品に光をあてると、カエルを乗せた列車が2つ浮き上がり、「えっなんで!?!」「かわいいっ」と歓声が。受付で面倒くさいとしぶっていた子も「光を2つあててるからじゃん、早く作ろうよ」とノリノリに。モノ作りを楽しむのはもちろん、光と影を使った視点の変化でさらに面白がってもらえればと SYUTA さん。毛糸や折り紙、サイコロキューブを使って、どんな列車ができるのかしら。



子どもたちの描いた景色を乗せて次々につながっていくトレイン

「海に行きたいな」「遊園地を作ってみたよ」「虹を描いてみた」「アニメキャラが好き」、思い思いの風景を乗せた車両が1つ、また1つとつながっていく。あっという間の2時間で、みんなで作った10両のトレインミュージアムが完成!! 壁に映し出された列車に、迎えにきたお父さんお母さんも「上手にできたね」「夏休みの宿題が1つできたね」と笑顔に。「家で別の絵を描いて、壁に映してみるね」と子どもたちの声に、SYUTA さんはレールを敷いてぐるっとまわるトレインミュージアムなど、試してみたいアイデアがいろいろあるそう。次回のワークショップも楽しみです。(T.N)

①材料をそろえる

ウッドフレーム (B5) 2枚、透明シート1枚、木片 (タテ用1枚、ヨコ用2枚、厚さ約2mm)、木製の車輪4コ、車輪をつなぐ竹ひご2本、木製のサイコロキューブ (1cm大)、毛糸、折り紙、油性マジック、ハサミ、水性ボンド、穴あけ用にドリルまたはキリほか。木工用のネットショップやDIY店、100円ショップで購入できる。



②フレームに木片を貼る

完成後に透明シートに描いた絵を差し込むための隙間を作る。タテ1枚、ヨコ2枚を水性ボンドで張り合わせた後、もう1枚のウッドフレームを合わせる。



③デコレーションする

サイコロキューブや毛糸、折り紙を使って、思い思いにフレームの飾り付け。木製の車輪を取り付ける穴の位置にデコレーションしないのがポイント。



④木製の車輪を取り付ける

電動ドリルまたはキリで、車輪を取り付ける穴を2カ所あける。軸は竹ひごを使用。車輪も色を塗ったり、折り紙を貼ってみよう。



⑤透明シートに絵を描こう

油性マジックを使って、透明シートに好きな絵を描く。色がにじまないように黒のマジックで輪郭を描いてから、裏返して中の色を塗るのがコツ。白紙に下書きしてから、透明シートを重ねてなぞるのがいい。



⑥フレームに絵を差し込む

透明シートに描いた絵と購入時にウッドフレームについでいるプラスチックシートを、すき間ができたヨコ1辺から差し込んでできあがり!!



⑦上映会

それぞれ出来上がったトレインをつなげる。部屋を暗くしてスポットライトや懐中電灯をあてると、壁に列車が浮き上がって見えるよ。1車両でも光の数を変えたり、角度を変えたり、列車が増えたり、大きくなったり小さくなったりするので、試してみよう。



おまけ

フレームのサイズに合わせて、思い出の写真や画用紙に描いた絵を入れて飾ることもできるよ。

